

12 肝臓の機能障害

等級	障害程度	鉄道割引 所得地方税	解 説
1 級	肝臓の機能の障害により日常生活活動がほとんど不可能なもの	↑ ↓ 第一種身体障害者 ↓	↑ ↓ 特別障害者控除 ↓ ↑ ↓ 障害者控除該当 ↓
2 級	肝臓の機能の障害により日常生活活動が極度に制限されるもの		
3 級	肝臓の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの（社会での日常生活活動が著しく制限されるものを除く）		
4 級	肝臓の機能の障害により社会での日常生活活動が著しく制限されるもの		
			<p>ア 等級表 1 級に該当する障害は、次のいずれにも該当するものをいう。</p> <p>(ア) Child-Pugh分類（表 1）の合計点数が 7 点以上であって、肝性脳症、腹水、血清アルブミン値、プロトロンビン時間、血清総ビリルビン値の項目のうち肝性脳症又は腹水の項目を含む 3 項目以上が 2 点以上の状態が、90 日以上の間隔をおいた検査において連続して 2 回以上続くもの。</p> <p>(イ) 次の項目（a～j）のうち、5 項目以上が認められるもの。</p> <p>a 血清総ビリルビン値が 5.0mg/dl 以上</p> <p>b 血中アンモニア濃度が 150ug/dl 以上</p> <p>c 血小板数が 50,000/mm³ 以下</p> <p>d 原発性肝がん治療の既往</p> <p>e 特発性細菌性腹膜炎治療の既往</p> <p>f 胃食道静脈瘤治療の既往</p> <p>g 現在の B 型肝炎又は C 型肝炎ウイルスの持続的感染</p> <p>h 1 日 1 時間以上の安静臥床を必要とするほどの強い倦怠感及び易疲労感が月 7 日以上ある</p> <p>i 1 日に 2 回以上の嘔吐あるいは 30 分以上の嘔気が月に 7 日以上ある</p> <p>j 有痛性筋けいれんが 1 日に 1 回以上ある</p> <p>イ 等級表 2 級に該当する障害は、次のいずれにも該当するものをいう。</p> <p>(ア) Child-Pugh分類（表 1）の合計点数が 7 点以上であって、肝性脳症、腹水、血清アルブミン値、プロトロンビン時間、血清総ビリルビン値の項目のうち肝性脳症又は腹水の項目を含む 3 項目以上が 2 点以上の状態が 90 日以上の間隔をおいた検査において連続して 2 回以上続くもの。</p> <p>(イ) ア（イ）の項目（a～j）のうち、a から g までの 1 つを含む 3 項目以上が認められるもの。</p> <p>ウ 等級表 3 級に該当する障害は、次のいずれにも該当する</p>

等級	障 害 程 度	鉄 道 割 引 所 得 地 方 税	解 説
			<p>ものをいう。</p> <p>(ア) Child-Pugh分類（表1）の合計点数が7点以上の状態が、90日以上の間隔をおいた検査において連続して2回以上続くもの。</p> <p>(イ) ア（イ）の項目（a～j）のうち、aからgまでの1つを含む3項目以上が認められるもの。</p> <p>エ 等級表4級に該当する障害は、次のいずれにも該当するものをいう。</p> <p>(ア) Child-Pugh分類（表1）の合計点数が7点以上の状態が、90日以上の間隔をおいた検査において連続して2回以上続くもの。</p> <p>(イ) ア（イ）の項目（a～j）のうち、1項目以上が認められるもの。</p> <p>オ 肝臓移植を行った者については、抗免疫療法を要しなくなるまでは、障害の除去（軽減）状態が固定したわけではないので、抗免疫療法を必要とする期間中は、当該療法を実施しないと仮定して、1級に該当するものとする。</p>

(表1) Child-Pugh分類

	1 点	2 点	3 点
肝性脳症	なし	軽度（Ⅰ・Ⅱ）	昏睡（Ⅲ以上）
腹水	なし	軽度	中程度以上
血清アルブミン値	3.5g/dl超	2.8～3.5g/dl	2.8g/dl未満
プロトロンビン時間	70%超	40～70%	40%未満
血清総ビリルビン値	2.0mg/dl未満	2.0～3.0mg/dl	3.0mg/dl超